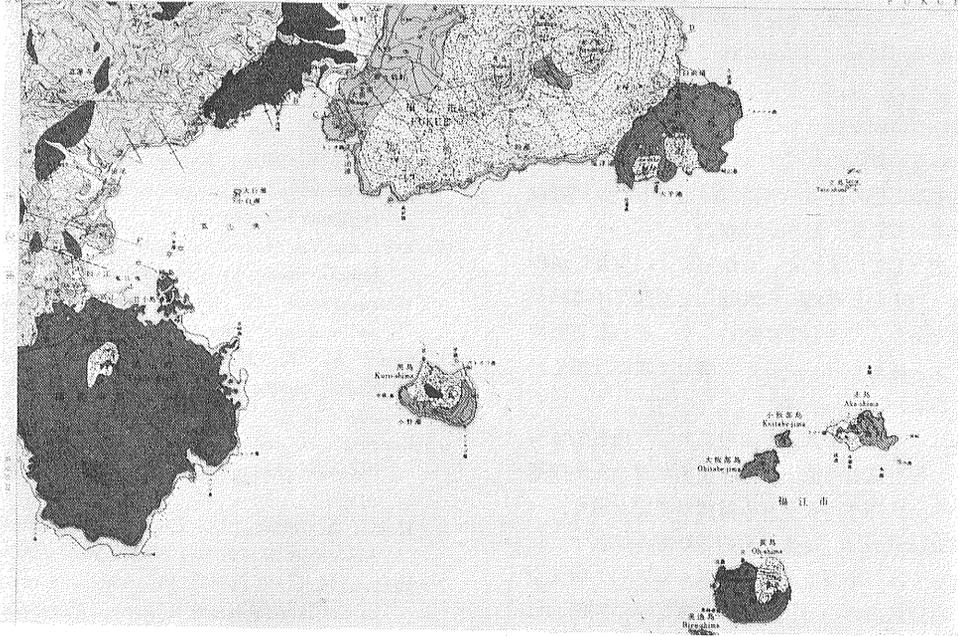


富江 TOMIE



5万分の1 地質図幅の新刊

富江 TOMIE

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著者 松井和典(地質部)
 鎌田泰彦(長崎大学)
 倉沢一(技術部)

発行 工業技術院地質調査所

取扱先 地学文献センター(0423)62-5050

・富江は五島列島の南端福江島の南東域で 長崎から船で3時間余 長崎空港から35分である。五島サンゴの産地で有名であったが 現在でもその加工技術は残されている。福江港に近づく船上から眺める噴石丘地形は美しい。

・福江島は主として中新世の五島層群で構成されており その岩質・地質構造については今後の研究に残される点があるが地質図では岩相で区分している。島の東西両地域には第四紀の火山地域がある。その岩質は玄武岩で 陸地には鬼

岳・火ノ岳火山群 海上にはいくつもの火山島が散在し 富江は平坦な溶岩台地である。

・この火山岩地域を鬼岳・火ノ岳地区・島嶼地区・富江の3地区に分けている。「富江岩」と呼称され 3型に分けられた溶岩流も 増田・大浜溶岩と区別してある。またこの地域には山頂に火口地形を残した 大小の噴石丘が多く見られ 地質見学には恰好の場と考えられる。鬼岳・火ノ岳火山地域は露頭状況がよくないが 火山噴出物についてもう少し詳しく分類ができればよかった。

・五島層群および花崗斑岩の分布地域には 明治・大正時代からアルミナ資源として採鉱されていた ろう石鉱床が点在している。中でも五島鉱山・田尾鉱山の2鉱山が現在でも採掘出鉱している。戦中は軍部に接収されていた。鉱床は五島層群に貫入する花崗斑岩による熱水性交代鉱床で ダイアスポア・クレー用ろう石等の鉱石が坑内・露天掘で採鉱されている。ダイアスポア鉱床として 国内では有名であり 鉱床学的にも興味もたれる。

地質ニュース	第275号	7月号
	定価 ¥ 420	〒 50
昭和52年7月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局 政府刊行物仕入部	
	東京都港区赤坂葵町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	